

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

食品工場におけるボイラー更新による  
CO2 削減事業

排出削減事業者名：名城食品株式会社

排出削減事業共同実施者名：株式会社ウェイストボックス

その他関連事業者名：

## 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	名城食品株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	名城食品株式会社 滋賀工場
住所	滋賀県栗東市東坂 53-18
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	株式会社ウェイトボックス
その他関連事業者	
関連事業者名	

### 1 排出削減活動の概要

#### 1.1 排出削減事業の名称

食品工場におけるボイラーの更新による CO2 削減事業(A 重油→都市ガス)

#### 1.2 排出削減事業の目的

本事業は、食品工業におけるボイラー設備を高効率な設備に更新し、A 重油から低炭素燃料の都市ガスへエネルギー転換することによって、二酸化炭素削減を図るものである。

#### 1.3 温室効果ガス排出量の削減方法

既存のボイラー(A 重油ボイラー3 基)を高効率なボイラー(都市ガスボイラー4 基)に更新することにより、エネルギー使用量を削減する。また、A 重油よりも単位発熱量当たりの炭素含有量が少ない都市ガスへ燃料転換することにより CO2 削減を図る。

#### 1.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

#### 1.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

特になし

## 2 排出削減活動期間

### 2.1 プロジェクト開始日

2008年 11月 1日

### 2.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年 4月 1日 ～ 2016年 8月 31日

## 3 温室効果ガス排出削減量

### 3.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

### 3.2 活動量

#### 3.2.1 活動量・原単位

活動量は使用しない

#### 3.2.2 活動量の採用根拠

活動量は使用しない

### 3.3 事業の範囲（バウンダリー）

本事業のバウンダリーは、名城食品株式会社の滋賀工場及び下関工場におけるボイラー設備及び、供給設備とそこから蒸気の供給を受ける設備である。

#### 4 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法 に変更ある場 合、) 変更理由
F <sub>fuel,PJ</sub>	事業実施後の燃料使用量	Nm <sup>3</sup> / 対象期 間	(滋賀) 1,438,609.7 (下関) 1,641,167.0 (合計) 3,079,776.7	燃料供給会社から送付される請求書 を保管し、ノルマル換算を行う。	無し
HV <sub>fuel,i,PJ</sub>	事業実施後の燃料の単位発熱量	GJ/ Nm <sup>3</sup>	0.044(2013年度) 0.0464(2014年度以降)	デフォルト値を利用	無し
ε <sub>PJ</sub>	事業実施前のボイラー効率	%	(滋賀) 88.2 (下関) 85.5	カタログ値をもとに、高位発熱量に 換算しボイラー稼働率にて補正	無し
ε <sub>BL</sub>	事業実施後のボイラー効率	%	86.4	カタログ値をもとに、高位発熱量に 換算	無し
CF <sub>fuel,BL</sub>	事業実施前の燃料の単位発熱量当 たりの排出係数	tCO <sub>2</sub> / GJ	0.0708	デフォルト値に変更がないか確認	無し
CF <sub>fuel,i,PJ</sub>	事業実施後の燃料の単位発熱量当 たりの排出係数	tCO <sub>2</sub> / GJ	0.0517	デフォルト値に変更がないか確認	無し

## 5 排出削減量の計算

### 5.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
滋賀工場			
390,074.3 (Nm3)	0.044 (GJ/Nm3)	0.0517(tCO2/GJ)	887.3 (tCO2)
1,048,535.5 (Nm3)	0.0464 (GJ/Nm3)	0.0517(tCO2/GJ)	2,515.3 (tCO2)
<b>EMPJ</b>			3,402.6 (tCO2)
下関工場			
492,601.9 (Nm3)	0.044 (GJ/Nm3)	0.0517(tCO2/GJ)	1,120.6 (tCO2)
1,148,565.1 (Nm3)	0.0464 (GJ/Nm3)	0.0517(tCO2/GJ)	2,755.3 (tCO2)
<b>EMPJ</b>			3,875.9 (tCO2)

### 5.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
滋賀工場			
16,813.0 (GJ)		0.0708(tCO2/GJ)	1,190.4 (tCO2)
47,659.1 (GJ)		0.0708(tCO2/GJ)	3,374.3 (tCO2)
<b>EMBL</b>			4,564.7 (tCO2)
下関工場			
21,902.6 (GJ)		0.0708(tCO2/GJ)	1,550.7 (tCO2)
53,854.4 (GJ)		0.0708(tCO2/GJ)	3,812.9 (tCO2)
<b>EMBL</b>			5,363.6 (tCO2)

### 5.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
滋賀工場			0(tCO2)
LE			0(tCO2)
下関工場			0(tCO2)
LE			0(tCO2)

### 5.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2) (合計)	<i>EM<sub>BL</sub></i>	<b>9,928.2 (tCO2)</b>
(滋賀工場)		4,564.6 (tCO2)
(下関工場)		5,363.6 (tCO2)
事業実施後排出量 (7.1) (合計)	<i>EM<sub>PJ</sub></i>	<b>7,278.5 (tCO2)</b>
(滋賀工場)		3,402.6 (tCO2)
(下関工場)		3,875.9 (tCO2)
リークージ排出量 (7.3) (合計)	<i>LE</i>	<b>0(tCO2)</b>
(滋賀工場)		0(tCO2)
(下関工場)		0(tCO2)
<b>温室効果ガス排出削減量 (合計)</b>	<b><i>ER</i></b>	<b>2,649 (tCO2)</b>
(滋賀工場)		1,162 (tCO2)
(下関工場)		1,487 (tCO2)

## 6 省エネルギー量

注) 複数の方法論を採用している場合は、表を追加して方法論ごとにエネルギー使用量を記載すること。

原油換算 (kl)		
ベースライン ①	実績 ②	ベースライン - 実績 ①-②

熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）施行規則第4条に規定する換算係数を使用すること。(省エネルギー量=3,617.9-3,618.0= -0.1kl)

## 9 再生可能エネルギー利用量

該当なし。

	モニタリング期間 ( 年 月 日 ~ 年 月 日 )			
		エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算(kl)
	単位	(実績)	(実績)	(実績)